

内谷市長の

ゆるやかコラム

「人口減少社会に備え
笑顔で暮らせる長井の地域づくり」

今年の秋は、クマをはじめとした有害鳥獣の被害が多発し、市民生活に大きな影響を及ぼしました。市では、有害鳥獣対策としてデジタル技術を活用するなど、先進的な取り組みを進めてきましたが、それ以上に環境の変化が大きくなっています。誰もが安心して暮らせるよう、猟友会の皆さんや国・県と力を合わせて対応してまいります。

さて、本市でも人口減少が進んでいます。今後は、人口減少社会を現実的なものとして受け止めた上で、市民の皆様が地域や長井の未来に希望を持てるような、まちのブランドデザインをより鮮明にお示ししていきたいと思っております。

人口減少社会への対応を考える上で、県内・県外へアクセスしやすい交通の利便性の良さは重要な要素です。道路の対応としては、高速交通ネットワークをまちなかにつなげる必要があると考えています。新潟山形南部連絡道路の今泉を起点に、山形市・村山圏域につながる高規格道路の整備推進を重点目標として、国・県に働きかけてまいります。

す。鉄道については、フラワー長井線のダイヤ見直しを検討し、新幹線や在来線への乗り継ぎの利便性を高め、車だけに頼らない公共交通網を作りたいと思います。交通の利便性を高めることで、暮らしやすいまちを目指してまいります。

一方、人口減少が進む中にあっても、市では小学校の統廃合は行わない方針です。6つの地域の特色を生かし、子どもたちが幸せ感を持って小学校生活を送れるような教育を進めてまいります。さらに、各地区の小学校とこどもたちを中心とした地域コミュニティを大切にし、コミュニティセンターと地域の人を中心に、こどもをまんなかに置いた地域づくりを目指します。そして、市民一人ひとりがまちづくりに参画できる、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

これから冬の寒さが厳しくなります。市民の皆様におかれましては、お体を大切にしていただき、良い年を迎えられることを祈念いたします。今年1年誠にありがとうございました。